

〔一般社団法人 東京臨床糖尿病医会 第175回例会〕

- 開催日時:2023年1月21日(土)午後15時30分～午後19時
- 開催方法:ハイブリッド開催(会場・発信)ビジョンセンター永田町
住所:東京都千代田区永田町 1-11-28 電話03-6262-3553
- 交通機関:地下鉄「永田町」駅(有楽町線・半蔵門線・南北線)3番出口より徒歩0分

●テーマ:ガイドラインから見た糖尿病治療

◆開催あいさつ 理事長(会長):伊藤景樹 (15:30～15:35=5分)

◆司会:菅原正弘(菅原医院 院長)

第1講演『2型糖尿病の薬物療法のアルゴリズム』 (15:35～16:35=60分)

【要旨】 血糖降下薬の選択肢が増えた現在、2型糖尿病の治療は多様化している。2022年8月には日本糖尿病学会のコンセンサスステートメント「2型糖尿病の薬物療法のアルゴリズム」が発表された。本講演では国内外の潮流とコンセプトを考察する。

講師:鈴木亮先生(東京医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学分野主任教授) 質疑応答(16:35～16:45=10分)

第2講演『消化器内科の立場から見た糖尿病治療—NAFLD/NASH診療ガイドラインを含めて—』(16:45～17:25=40分)

【要旨】 近年 NAFLD/NASH 診療ガイドライン 2020 が改定され公表された。以前のものと大きな違いは、2型糖尿病を合併した NAFLD/NASH 患者の治療として GLP-1 受動態作動薬と SGLT2 阻害薬が新たに加わったことである。本講演では、ガイドラインを概説するとともに、NAFLD/NASH 治療における GLP-1 受動態作動薬の有用性について自験例を交えて概説する。

講師:杉本勝俊先生(東京医科大学 消化器内科 准教授) 質疑応答(17:25～17:35=10分)

.....コーヒーブレイク(17:35～17:45=10分).....

第3講演『個別性を考慮した高齢者糖尿病の治療』 (17:45～18:45=60分)

【要旨】 高齢者糖尿病は老年症候群、multimorbidity などが死亡や低血糖のリスクになる。DASC-8などで認知・ADLを評価し、フレイル・サルコペニア、栄養、薬剤、社会面などの評価を行い、フレイル対策、治療の単純化などを行う。

講師:荒木厚先生(東京都健康長寿医療センター 糖尿病・代謝・内分泌内科副院長
フレイル予防センター長 内科統括部長)

質疑応答(18:45～18:55=10分)

◆次回例会の案内(176回例会)のお知らせ 宇治原典子先生(芝浦クリニック 院長) (18:55～19:00=05分)

共催:一般社団法人東京臨床糖尿病医会・ノボ ノルディスク ファーマ(株)
後援:一般社団法人日本糖尿病学会関東甲信越支部
後援:一般社団法人日本くすりと糖尿病学会

【事前参加申込に関するお願い等】

※会場参加 または WEB 参加どちらにいたしましても、例会参加申込は、下記の方法からの「事前参加申込」が“必須”となっておりますので、宜しくお願い致します。

①ホームページ：<http://www.ammc.co.jp> 内の「例会参加申込フォーム」から“のみ”の受付となります。

(※) 参加申込者の方には、追って郵便振替用紙など“関係資料”を送付させていただきます。

(※) WEB参加申込の方には、例会開催日の“3日前後”に参加のための「URL」をお知らせさせていただきます。併せて、「URL」への「入室マニュアル」を添付送信させていただきますので、ご参考として頂ければと存じます。

(注) 事前参加申込は、「2023年1月10日」までとさせていただきます

(注) 事前の“参加費のお振込み”を以て、「正式参加申込」とさせていただきます。

(注) 「日本糖尿病療養指導士認定機構」および「東京 CDE/CDS」認定番号をお持ちの方は、必ず「認定番号」をご記入の上、お申し込み願います。

(注) また、「日本くすりと糖尿病学会」の(会員および非会員で“P 認定シール”発行希望者)は、必ず「会員番号 (非会員の方は無記入でOK)」と「薬剤師免許登録番号」のご記入をお願い致します。

【認定単位】

★日本くすりと糖尿病学会糖尿病認定薬剤師制度研修単位(2単位)を“申請中”です。

★日本糖尿病療養指導士「認定更新」のための単位(2群1単位)「集会型」および「Web型」の双方を“申請中”です。

★東京 CDE・CDS の「2群研修」(2単位)の“講習会”として“申請中”されています。

(注)WEB 参加者には、例会開始時、後半開始時、終了時に発表します「3つの“キーワード”」を記入することが“発行条件”となります。尚、会場参加者につきましては、参加者名簿に必要事項を記載して頂き、当日会場にて配布させていただきます。

(注)WEB 参加者への「認定単位・受講票・参加証」等の発行は、最後までご参加を頂き例会終了後に「画面内アンケート」にお答えを頂きました方に、対応させていただきますので、くれぐれもよろしくお願い致します。(“条件”となります。)

★社団法人日本糖尿病学会「専門医」としての更新単位(1単位)として“申請中”です。

★日本医師会生涯教育制度「2単位」が“申請中”です。

★日本糖尿病協会の「療養指導医更新」のための“講習会”として“申請中”です。

★日本糖尿病協会の「歯科医師登録医」のための“講習会”として“申請中”です。

【参加費】

東京臨床糖尿病医学会会員:ドクター 2000 円、会員スタッフ 1000 円、一般(医療従事者) 3000 円です。

尚、一度お振り込みを頂きました「参加費」は、当会の都合による開催中止以外のいかなる事情におきましてもご返却は致しかねます事をご了承下さいませ。

又、参加費のお振込みを以て「正式参加申込」とさせていただきます。

第177回特別例会「演題募集」のお知らせ

◎2023年9月16日(土)開催予定の第177回特別例会におきましても、広く「症例発表・研究報告」等の“演題”を募集致しております。※発表のテーマにつきましては、どのようなテーマで構いません。

◎医師・コメディカルの方々(会員・一般を問わず)の奮ってのご応募をお願い申し上げます。

※お願い: 発表演題のタイトルと100文字以内の発表内容の“要旨”を2023年7月5日(必着)までにお知らせ下さい。

※発表抄録は、2023年7月20日までに A4サイズ40文字×40行で2枚以内(別途、図・表 OK)を事務局のメールアドレスまで添付資料として送付をお願い致します。

◎尚、初めてのご発表者に限り(1演題につき1名)に「守屋美喜雄賞」として“賞金”2万円および“賞状”を贈呈させていただきます。(年齢は問いません)

◎お問い合わせは、事務局(担当:深堀幸次)までお願い致します。

〈お知らせ：倫理審査委員会〉

・日本糖尿病学会では、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいた運営を行うため、2019年5月開催予定の「第62回年次学術集会」から演題登録時の倫理審査確認の必須化を実施します。

・臨床研究、疫学調査、ヒト試料を用いた基礎研究に該当する演題においては、登録時に承認を受けた「承認機関」と「倫理審査番号」の入力が必須となります。

◎東京臨床糖尿病医学会では、「倫理委員会」を設置しております。

◎会員の方の「審査料」は、“15,000 円”、会員外の方の「審査料」は、“20,000 円”です。(事務手数料は、各々:5,000 円)